

とびら

2号

2022年

11月1日

発行

慶誠高等学校

K.S.

マルクスから ありがとう

マルクスさんが慶誠高校に来た約2ヶ月。今回は彼からの「ありがとう」を本人の文字でお伝えします。

私が初めてウラスに入ったとき、すてきなお手紙の自己紹介を渡してくれてありがとう。ございました。

学校のことやウラスのことや日本語のことをいろいろ教えてくれてありがとうございます。

誕生日に私が知らない日本の菓子をお菓子をいっぱいくれてありがとうございます。

初めて行った日から太鼓をたかかせてくれたり、いっしょに参加させてくれてありがとうございます。

和太鼓のたたき方を分かりやすく教えてくれてありがとうございます。

2年2組へ



いつも私の気持ちさわがってくれてありがとうございます。

いつもおいしいごはんを食わせてくれてありがとうございます。

今まで経験したことのない新しいことを楽しませてくれてありがとうございます。

和太鼓部へ

次号ではヨエルさんからの「ありがとう」を紹介します!

ヨエル News

くまもと、ゆくゆく基金助成事業
11月12日(土)「本場のフラダンスパフォーマンス作り」
川口先生(「チゴウパニ」教室/主宰/本講座監修)とのコラボ
も各々、英語と日本語でレシポを作ってくれました。
当日着用のコックコート姿、楽しかったです!

ヨバムへ

間違えても日本語を使い続けよう。慶誠の授業にもチャレンジする姿勢。私を見習わなければ...と思います。日本語クラスもバスケット頑張るゾバ目標にしている。ウィンターカップ出場目標頑張れ!!!ずいずいと応援しています。

熊本学園大学 日本語クラブ
77原 二のり

ホストファミリーへ

来年9月から日本へ10ヶ月間の高校留学希望者数が決定!熊本で何人の留学生を受入れようかと悩み始める時期となりました。国と国との交換留学プログラムは1年前から動き出します。そう考えると、ヨエル、マルクスはコロナ禍であったにも関わらず、日本への入国規制が続く中、留学を決意しということになります。夢を叶える人は、コロナ禍であろうと、「出来ない理由・やれない理由」を探しませんね。これって世界共通のようです。ヨバはバスケット留学生として卒業目的の留学です。1年間であっても3年間であっても長期留学生が精神力で乗り越えるためには、一人でも多くのサポートがあってこそ! クラス、部活、そして熊本県民の「心」で慶誠留学生を支え続けていきたいと思っています。